

## もしものために備えて

～平成19年度登別市大雨災害実働訓練～

10月2日(火)、『平成19年度登別市大雨災害実働訓練』(登別市防災会議主催)が行われ、防災関係機関や町内会、自主防災組織ら29機関約400人が参加しました。

この訓練は、防災関係機関と地域住民が一体となり、災害発生時に市民の生命・財産を守るため、適切で迅速な行動を身に付けるとともに、防災意識の高揚を図ることを目的に行われました。

今年の訓練は、大雨により来馬川が氾濫した場合を想定。これまで行っていた総合防災訓練をより実践的に行おうと、防災マップを活用し、避難場所や避難経路を検証しました。

訓練では、中央町2・3丁目と新川町2丁目町内会の参加者を市職員が避難場所まで誘導したほか、防災関係機関による土のう積みの水防訓練や交通規制訓練、放置車両排除訓練、テレビ電話による情報伝達訓練、炊き出し訓練などを行いました。

最後は、参加者が市民会館に集まり、陸上自衛隊幌別駐屯地の隊員や日本赤十字社の奉仕団による炊き出しの豚汁とおにぎりを試食しながら、訓練の反省をしていました。



▲避難誘導訓練



▲閉会式

## デンマークの食と文化を学ぶ

～モートンさんのデンマーク料理教室～



9月20日(木)と10月3日(水)の2日間、市民会館で『モートンさんのデンマーク料理教室』(登別デンマーク協会主催)が開かれ、約40人が参加しました。

この教室は、同協会が毎年受け入れているデンマーク研修生と市民との交流を目的に行っているものです。

研修生のモートン・エルベックさん(20歳、ファボー・ミッドフュン市在住)は9月9日(日)に来登。料理教室では、デンマーク風ミートボールなどを作り、楽しく交流しました。

モートンさんは、この教室のほか、小・中学校などを訪問し、デンマークの体操や文化を紹介したほか、書道や茶道などの日本の文化を学び、10月6日(土)に帰国の途につきました。

## 学びの心をいつまでも

～生涯学習フェスティバル～

10月13日(土)、市民会館で『生涯学習フェスティバル』(市主催)が開かれ、約550人の市民が参加しました。

この催しは、市内の生涯学習団体やボランティアグループなどが集い、日ごろの活動の紹介や成果を発表するもので、2年ごとに行われています。

ステージでは、太鼓やよさこいソーラン、郷土芸能『熊舞』、フラダンス、ハーモニカの演奏が披露され、盛大な拍手が送られていました。

このほか、学び体験コーナーでは、魚拓や陶芸、竹とんぼ作り、織り染めなどが行われ、参加者は学ぶ楽しさを体験していました。

